

神戸電子専門学校 2019年度シラバス

■科目基本情報

科目名	MC・レポーターⅡ	科目コード	9822
シラバスコード	196D5E-9822		
授業時数/週	3時間/週		
開講年次・学期	2年次・前期		
必修/選択区分	必修		
担当教員	広瀬敦子		
教員の実務経験			
職業実践専門課程		連携企業等	
備考			

■科目詳細情報

授業概要	声の表現者の仕事のひとつとして活躍が期待できる仕事、MC（司会）とレポーターのハウツーを身に付ける。Iコースで学んだことを踏まえ、人の前に出て場を仕切る話し方を取得。フリートークに苦手意識を持つ学生は多いがチャレンジすることで殻を破ろう。
到達目標（前期）	オーディション、就活を控え人の顔を見て話し伝える力を上げる。基本を踏まえたうえで自分らしい話し方を見つける。
到達目標（後期）	対人関係に自信を持てる会話術でコミュニケーション能力を上げることは、自身の行動範囲と見聞を広げ、より良い未来に繋げる。
授業方法	実技、個人指導中心。シラバスは予定。授業開始時には発声練習必須。
実践的教育の内容	
評価方法（前期）	授業態度と出席率40%、授業内での成果60%
評価方法（後期）	授業態度と出席率40%、授業内での成果60%
授業外における学修	学内外でのイベントMCへのチャレンジ。又はIコース生への指導。
授業計画（前期）	第1週 フリートーク Ⅱコースに進級して思う事。
	第2週 自己PR① オーディション、面接に向けての「鉄板自己PR」を確立。
	第3週 自己PR② オーディション、面接に向けての「鉄板自己PR」を確立。
	第4週 フリートーク+連発① 10個のテーマを提示、取り組みたいテーマから1分で話す。
	第5週 フリートーク+連発② 10個のテーマを提示、取り組みたいテーマから1分で話す。
	第6週 フリートーク+連発③ 10個のテーマを提示、取り組みたいテーマから1分で話す。
	第7週 フリートーク+連発④ 10個のテーマを提示、取り組みたいテーマから1分で話す。
	第8週 敬語① 敬遠したくなる敬語。大人の階段の一歩として取り組もう。
	第9週 敬語② 敬遠したくなる敬語。大人の階段の一歩として取り組もう。
	第10週 敬語③ 敬遠したくなる敬語。大人の階段の一歩として取り組もう。
	第11週 MC（イベント）① イベント設定でのMC実習。
	第12週 MC（イベント）② イベント設定でのMC実習。
	第13週 MC（イベント）③ イベント設定でのMC実習。
	第14週 MC（インタビュー）④ 取材。コツはインタビュアーが喋りすぎないこと。
	第15週 MC（インタビュー）⑤ 取材。コツはインタビュアーが喋りすぎないこと。
	第16週 自己PR・パワーアップ① 鉄板自己PRは見についているか？説得力はあるか？
	第17週 自己PR・パワーアップ② 鉄板自己PRは見についているか？説得力はあるか？

神戸電子専門学校 2019年度シラバス

授業計画（後期）	第18週	次のステージに向けてアツク語れ① グループディスカッション。語り、人の思いを引き出す。
	第19週	次のステージに向けてアツク語れ② 個人で次のステージに向けて自分へのメッセージ。
	第20週	MCとリポーター① グループを組み、MCとレポーター役を決め、番組形式での実習。
	第21週	MCとリポーター② グループを組み、MCとレポーター役を決め、番組形式での実習。
	第22週	MCとリポーター③ グループを組み、MCとレポーター役を決め、番組形式での実習。
	第23週	MCとリポーター④ グループを組み、MCとレポーター役を決め、番組形式での実習。
	第24週	MCとリポーター⑤ グループを組み、MCとレポーター役を決め、番組形式での実習。
	第25週	MCとリポーター⑥ グループを組み、MCとレポーター役を決め、番組形式での実習。
	第26週	MCとリポーター⑦ グループを組み、MCとレポーター役を決め、番組形式での実習。
	第27週	MCとリポーター⑧ グループを組み、MCとレポーター役を決め、番組形式での実習。
	第28週	MCとリポーター⑨ グループを組み、MCとレポーター役を決め、番組形式での実習。
	第29週	MCとリポーター⑩ グループを組み、MCとレポーター役を決め、番組形式での実習。
	第30週	MCとリポーター⑪ グループを組み、MCとレポーター役を決め、番組形式での実習。
	第31週	実習予備日① イベント説明会などのための予備日
	第32週	実習予備日② イベント説明会などのための予備日
	第33週	実習予備日③ イベント説明会などのための予備日
	第34週	実習予備日④ イベント説明会などのための予備日
教科書・教材	NHK日本語アクセント辞典	
参考文献・資料	都度個人で収集もあり。	
履修上の留意点	個人の子カは千差万別。良さを引き出し合おう。	